

秋田県東成瀬村

特に力を入れている分野：移住政策



地域おこし協力隊事業

本村では、これまで若い世代が進学・就職で関東圏等に転出し、多くはそのまま住み続け、村に帰ってくるのが少なく、また、職場への通勤等の理由から近隣の市町村へ転出しているのが現状です。

そうした状況の解決策のひとつとして、地域の活性化や産業振興等を図るため、都市地域から担い手となる人材を確保し、地域における活動を通じて、その定住、定着を目指し、地域力の維持・強化を促進するため、地域おこし協力隊事業を推進しています。

4月1日現在、本村では計17名の隊員が着任しており、YouTubeを活用した観光等PR動画の発信や、村内IT企業と連携し、村のデジタル課題の解決へ向けた各種事業などそれぞれの業務に従事しています。当該IT企業は、村が出資する第三セクターでもあり、地域おこし協力隊の受け入れをはじめ、若い世代の雇用の場の創出としても期待しているところです。そのほか、隊員自身で立案した企画や事業なども、村として前向きに検討し、実施へ向けた支援を行っています。また、今年度より、協力隊退任後の起業等の財政的な支援も実施することとしております。

